

道路除排雪作業に

ご理解とご協力をお願いいたします!!



- ▶ 路上駐車をしないでください。
- ▶ 道路に雪を出さないでください。
- ▶ 路上に障害物を置かないでください。
- ▶ 作業中は除雪車に近寄らないでください。
- ▶ 降雪状況により除雪時間が変わる事があります。
- ▶ 暴風雪や大雪のときは、不要不急の外出を控えてください。



北海道開発局 * 北海道 * 北海道警察 * 秩父別町

◆お問い合わせ 役場建設課建設グループ 33-2111 (内線93)



水道凍結に注意してください。

寒さが厳しくなる12月から3月にかけて、水道管の凍結事故が起きやすくなります。気温がマイナス4℃以下の日や水道凍結注意報が出たとき、水道を長期間使用しないときは必ず水抜きをするように心がけてください。

水道管が凍結すると、水が出なくなるのはもちろんのこと、解氷工事や水道管が破裂した場合の修理費は自己負担となりますので、ご注意ください。(公営住宅に入居されている方でも、水抜きをせずに凍結した場合は自己負担となります。)

また、ポイラーや湯沸し器などの凍結は故障の原因となり、また公営住宅などで水道管が破裂した場合は、流れ出た水により下の階の入居者に損害をかけるおそれがありますのでご注意ください。

もしも凍ってしまった場合は・・・

- ★凍結した水道管に、タオルか雑巾を巻きつけて、ゆっくりとぬるま湯をかける。
(熱湯をかけると、水道管が破裂したりヒビ割れしたりすることがありますので、ご注意ください。)
- ★ストーブを利用し、部屋全体を暖かくする。
- ★それでも溶けない場合は、「水道工事業者」に解氷を依頼してください。

◆お問い合わせ 役場建設課建設グループ 33-2111 (内線94)

平成29年度「子育てを見つめるゆうべ」

【北海道教育の日協賛事業】

プロ野球千葉ロッテマリーンズ

井口資仁新監督が講演しました



町PTA連合会と教育委員会主催の「子育てを見つめるゆうべ」で、プロ野球千葉ロッテマリーンズの新監督に就任した井口資仁さんが11月24日、交流会館で講演しました。井口さんは小中学校の保護者など約100人を前に自身のエピソードを交えながら親の愛情について話しました。

講演は、千葉ロッテマリーンズでブルペン捕手を務める大学時代の後輩、前里史朗さんを交えたトークショー形式で行われ、井口さんは野球を始めたきっかけや子どもの頃のエピソードを紹介。「野球を続けるためには勉強や毎日の生活をきちんとしていなければならない」「など」と両親が厳しく接してくれたことに触れ、「野球の道具も全部揃えてもらい、自宅練習では夜遅くまで親がトスバッティングなどを付き合ってくれた」と振り返りました。「親の手助けがないと絶対に野球を続けることができなかった」と親の愛情の大切さを話しました。

また、平成13年、福岡ダイエーホークス時代に史上3人目となる30本塁打40盗塁を達成したことに触れ、「当時、日本ハムファイターズのエース岩本投手はクセがあつて盗塁しやすかった」などと裏話も披露。講演後の質疑では、「子どもがケガをしたときの練習はどうしたらいいか」との問いに、井口さんは「絶対に無理をさせないこと。ほかにできる練習はいっぱいある」と話しました。

講演会に先立ち、井口さんは秩父別中で野球教室を行い、小中学生に守備や打撃のコツを指導。「ゴロはバウンドを予測して捕球しやすい位置で」「バッティングは脇をしめないとボールに力が伝わらない」などと熱心に指導しました。

井口さんの来町は今回で3回目。今年、秩父別町にたくさんのふるさと納税をしていたためであり、「野球人生の節目のときに秩父別町を訪れており、縁を感じる」と話しました。

井口新監督の主な経歴

國學院大學久我山高等学校（2年生夏甲子園出場）
青山学院大学（アトランタ五輪日本代表に選出）
福岡ダイエーホークス（1997年-2004年）
シカゴ・ホワイトソックス（2005年-2007年）
フィラデルフィア・フィリーズ（2007年）
サンディエゴ・パドレス（2008年）
フィラデルフィア・フィリーズ（2008年）
千葉ロッテマリーンズ（2009年-2017年）

選手歴

◆日本プロ野球
1915 試合出場 1760 安打 251 本塁打 1017 打点
◆メジャーリーグ
493 試合出場 494 安打 44 本塁打 205 打点

通算成績



海外観光プロモーションに参加 タイで秩父別町をPRしました



11月11日から3日間、タイで行われた観光プロモーションに神薮町長が参加し、秩父別町の観光名所や地元特産品などPRしました。

PRには、空知総合振興局のほか美唄市、滝川市、秩父別町、妹背牛町、沼田町の2市3町が参加。本町

からはタイの学校と縁を持つ種市敏則さん（町国際交流推進員）も同行しました。

11日は、コラート（同国第2の都市）のショッピングセンターで開かれた北海道フェア「うまいつしょ！北海道」に参加。本町はローズガールデンや温泉、まちのイベントなどを映像で紹介し、タイ語で作成した町のPRパンフレットも配布しました。

12日からはバンコクで市場調査を実施。種市さんと縁のある旅行会社や日本留学経験者などを訪ね、北海道への観光ツアーの状況や人気スポットなどを調査しました。旅行会社には本町の魅力をPRするとともに観光ツアーの提案も行いました。

椀澤雄大さんの「ゆめぴりか」

「お米番付2017」入賞

【道産米入賞は2回目です。いずれも秩父別町産米】

椀澤雄大さん（駅前町内）の「ゆめぴりか」が、全国規模のコンテスト「お米番付2017」で、道内で唯一となる最高位に選ばれました。

コンテストは、日本お米向上委員会が主催し、今年で5回目。全国35都道府県159品が出品されました。11月15日、最終審査を経て入賞米8種類を決定。食味計による機械審査をせず、ご飯のツヤ、香り、食感、粘り、甘みなどをミシュラン星付き料理人や五ツ星お米マイスターなどが味わって評価しました。

椀澤さんが作る「ゆめぴりか」は、その年の気候やその土壌に合わせた肥培管理を徹底するなど、量より質にこだわった米。椀澤さんは「この受賞をきっかけにゆめぴりかの産地として、地域ブランドを確立していきたい」と今後の抱負を語りました。

11月21日、椀澤さんは役場を訪れ、神薮町長に受賞を報告。神薮町長は「受賞は椀澤さんの努力の賜物。町としても大変うれしく思う」とたたえました。

道産米の入賞は、平成27年に続き2回目で、いずれも秩父別町産米が入賞しました。



橋本隆志委員長（京都老舗米屋「八代目儀兵衛」社長）が11月21日、椀澤さん宅を訪問し、賞状を手渡しました。

平成29年度北海道消防表彰式 佐久間団長と高村副分団長 が表彰されました



11月20日、札幌市内で秩父別消防団の佐久間団長が北海道消防表彰功労章を受章し、11月22日、役場で神薮町長に受章の報告をしました。

佐久間団長は、昭和52年から秩父別消防団員として、平成24年からは団長として永きにわたり防火思想の普及と防災活動への対応が高く評価され、表彰式では全受章者を代表して挨拶をされました。

また、30年以上にわたり消防団活動にご尽力された高村広行副分団長に永年勤労章が授与されました。



町特産のブロッコリーやトマトジュースあかずきんちゃんを使用した「ちっぷべつ緑のナポリタン」が小学校の給食に登場しました。児童たちはマチのご当地グルメを味わいながら、普段とは違う給食を楽しみました。

広報に掲載した写真をご希望の方、広報に関するご意見ご要望は、総務課総務グループ（広報担当）までご連絡ください。
※写真は電子メール送信による提供も可能です
・電話 33-2111（内線34番）
・メール kouhou@chippubetsu.jp



JA北いぶき青年部秩父別支部のメンバーがこども園くるみを訪れ、食育活動を行いました。町内で生産されている農産物がどんな料理の材料になるかなどを説明し、安心・安全な農業の大切さを園児たちに伝えました。



障がい者スポーツなどを体験したりする「全道巡回障がい児者スポーツ教室」が秩父別小学校で行われました。北海道障害者スポーツ振興協会の主催で、児童たちは地上のカーリングとも呼ばれる競技「ボッチャ」に挑戦しました。



町老人クラブ連合会主催による老人福祉センターまつりが開催されました。会場では、フラダンスやカラオケなどの演芸が披露されたほか、料飲店組合によるバザーも行われ、訪れた大勢の来場者は楽しい一日を過ごしました。



老人福祉センターで、ふれあい昼食会が開催されました。今回は食生活改善協議会のメンバーによる栄養バランスが考慮された手作り弁当が振る舞われ、参加者たちは、談話をしながら昼食を楽しみました。



11 / 25

地域おこし協力隊などの主催による料理教室「ワールドキッチンin秩父別」が加工センターくろりで開催されました。 Bangladeshからの留学生、サジヤドさんが講師となり、本場の Bangladesh カレーづくりを行いました。



11 / 21

10月に行われた「空知管内」JA青年部海外農業事情視察研修に参加した山田尚史さんと北垣仁さんが副支部長の松本直幸さんとともに役場を訪れ、視察先であるオーストラリアの農業状況など、研修結果を神薙町長に報告しました。



地域貢献活動の一環として、町内の教育施設や秩父別温泉の舗装補修工事をボランティアにより行っていた、だいたとして、11月16日、神薙町長から大同舗道株式会社（横平聡代表取締役社長）に感謝状を授与しました。

同会社は、札幌開発建設部発注の秩父別築堤工事を請け負うなかで、積極的に地域貢献しようと、小・中学校、ファミリースポーツセンター、郷土館、秩父別温泉（道の駅）で舗装の補修工事を無償で実施しました。

大同舗道株式会社（札幌市）に
感謝状を授与しました

受講してみませんか！「救命講習」 ～秩父別消防からお知らせ～

突然、心臓や呼吸が止まってしまった人に遭遇した場合、あなたは心肺蘇生法やAEDを使用した電気ショックができますか？

大切なのは、救急隊が到着する前に、その場に居合わせた人が応急手当を行うことです。速やかな応急手当が行われ、救急隊に引き継がれることにより、救命に多大な効果を与えます。

秩父別消防では、町民の皆さんをはじめ、町内事業所・団体を対象として随時救命講習を実施しています。講習は秩父別消防の職員が対応しますので、お気軽に申込み又はご相談ください。

講習内容

- ・ 応急手当の重要性、救命に必要な応急手当など
- ・ AEDの使用方法
- ・ 心肺蘇生法の実技指導

※受講後に普通救命講習修了証を交付します。



◆お問い合わせ 深川消防署秩父別支署 電話 33 - 3850